

支援の質とアカウンタビリティ向上に関する活動状況

(特活) 国際協力NGOセンター (JANIC)

1. 「支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (JQAN)」による活動

(1) 参考: JQAN の目的

1. 国際社会で共有されている人道支援の諸原則、基準類を理解し、実践できる支援実務者および団体の育成。
2. 継続的に日本およびアジア地域での人道支援の諸原則、基準、応用例などについて教授・指導ができる日本の NGO 人材の育成。
3. 主に日本の国際協力、緊急人道支援、減災防災活動に関わる政策立案者、資金提供機関関係者への提言活動。
4. 日本の国際協力、緊急人道支援、減災防災活動に関わる経験や課題を国際社会としての支援の質とアカウンタビリティの向上に役立てていくための発信活動。

(2) JQAN 活動

国際社会で共有されている人道支援の諸原則 (Core Humanitarian Standard など)、基準類の普及活動、提言活動、人材育成、発信活動などを展開。

① 翻訳活動

Core Humanitarian Standard on Quality and Accountability (CHS) および同基準のガイダンスノートの翻訳作業に着手。2016 年 7 月に基準、11 月にガイダンスノートの日本語訳完成。

② 基準認証組織への参加

- ・ CHS Alliance 理事会に JQAN 代表小美野が着任。11 月総会にて再選。
- ・ CHS 等の基準の実施状況の第三者検証を専門に行う Humanitarian Quality Assurance Initiative <http://hqai.org/> の設立理事として、JQAN 事務局長松尾が着任。

③ 研修の開催

時期	内容	実績
6 月 27, 28 日	人道&緊急支援の国際基準トレーニング<基礎編>@東京	16 名
8 月 17, 18 日	人道&緊急支援の国際基準トレーニング<基礎編>@東京 JICA 国際協力人材部と共催、能力強化研修として開催	20 名 (JICA 国際緊急援助隊事務局から 3 名、国内事業部 1 名)
12 月 10-11 日	人道&緊急支援の国際基準トレーニング<基礎編>@津市	15 名 (主に伊勢志摩サミット時市民サミット参加団体)
2017 年 1 月 28, 29 日	人道&緊急支援の国際基準トレーニング<基礎編>@徳島 (徳島県庁と共催)	行政職員 42 名
2 月 9-12 日	日本語での人道&緊急支援の国際基準トレーナー養成研修@東京 (NGO 研究会枠、事務局: 難民支援協会)	基礎編修了者向け、10 名
2 月 21-22 日	人道&緊急支援の国際基準トレーニング基礎編@東京。年度内 2 回目の JICA 能力強化研修枠として開催。2017 年度の実施予定あり。	23 名 (JICA 国際緊急援助隊事務局 1 名、筑波 1 名、研究所 1 名)

④ スフィア・ハンドブック改訂プロセスへの参加。

2017 年 1 月から開始されたプロセス中、JQAN 代表小美野がコア基準と CHS 基準の統合に関する分科会リード役を務める。

以上